

公開 平成15年度決算概要

歳入が年々減少 一般会計歳入

一般会計の歳入は、前年度に比べ、約10億7759万円、率にして、4.3%減少しました。その内訳を見ると、市中心的な財源である市税が6年



主要事業の重点化 一般会計歳出

一般会計の歳出は、前年度に比べて約11億3112万円減となりました。笠岡総合スポーツ公園の整備事業がピークを迎えましたが、人件費の抑制、内部管理経費の削減などにより、46%減少しました。この予算編成にあたっては、財政健全化計画をベースに、ゼロベース予算や決算重視の考えから前例踏襲を打破し、全ての事務事業の重点化、効率化を図り、市民ニーズに適合した施策に重点的に予算を配分しました。

主な支出としては、WELLしまちづくり事業に4196

【表1】特別会計・水道事業会計の決算

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
住宅資金貸付事業	45,594	36,418	9,176
国民健康保険事業	4,558,407	4,451,226	107,181
老人保健	6,792,748	6,788,651	4,097
真鍋島直診施設	27,519	26,015	1,504
へき地診療施設	3,702	3,627	75
下水道事業	3,139,874	3,095,806	44,068
相生墓園事業	60,529	58,997	1,532
土地造成事業	190,753	189,060	1,693
介護保険事業	3,793,571	3,659,048	134,523
介護サービス事業	120,202	116,190	4,012
計	18,732,899	18,425,038	307,861
企業会計			
水道事業	1,288,595	1,244,978	43,617
病院事業	2,697,575	2,687,071	10,504
企業会計は収益的収入及び収益的支出			

万円、障害者の支援費などの障害者福祉事業に4億2388万円、老人や母子保健事業に1億5323万円、農業用の施設改良事業等に1億7514万円、漁港の整備事業等に1億4373万円、生江浜岬線、西大戸堂ノ内線などの道路整備に3億1669万円、公園の整備に6869万円、消防施設の整備事業などに1699万円、笠岡総合スポーツ公園の整備事業に10億43

財政健全化に向けて

35万円などです。普通会計ベース(*1)で、歳入から歳出を差し引くと、約4億1300万円となります。しかし、財政の硬直化の度合いを計る指標(経常収支比率)からみると、笠岡市は92.2%と県下の他市に比べて高く、財政の健全化が急務となっています。



笠岡市では、平成15年度に県下でもいち早く、財政健全化計画を策定し、人件費の独自カットや事務事業の見直しなどを行い、最重要課題として財政の健全化を進めています。市のみならず国全体を取り巻く環境は、大変厳しいものがありますが、「みんなが築く生活元氣都市」の実現を目指し、ゆるぎない財政基盤を確立してまいります。

*1 普通会計：一般会計と住宅資金貸付会計、へき地診療会計、相生墓園会計をまとめたもの

問合せは
財政課

☎2126まで